



ピックアップ特集：委員会最前線

12月定例会の主な議題

第4回定例会は、12月16日から4日間の日程で開催され、24件の議案を審査し19日に閉会しました。

公明党

(五十嵐美知)

【高】市民の生活支援対策 金融危機による市民生活の影響と認識、更に定額給付金の期待は併せて市長に伺う

【答】今日の経済不況の中で、物価高騰が相次ぎ、日々不安を抱えながら家計を切り詰め生活されている。この度の「定額給付金」は生活支援対策と

【高】中小企業支援対策 新しい緊急保障制度の取り組みと今後の考えについて

【答】商工会議所、金融機関とも連携を図り、10月末、12月12日現在5件の認定実績からも、資金繰りの厳しさと痛感している。今後より一層制度の周知を図り対策を講じる。

民生クラブ

(谷田部芳征)

【高】雇用問題 公共事業の確保と予算の増額について

【高】市立病院の透析患者増の考えとは

【答】旅行中の透析患者の受入をホームページや旅行会社を通じてPRすることを検討する。

【高】市税をはじめ各種使用料、手数料等の収納率向上について

【答】収納向上対策本部が、平成8年2月に設置。今後においても、厳しい財政状況をおさえ、収納担当課と連携し、自主財源の確保に努める。

(林 喜代子)

【高】赤平駅前広場の整備の考え

【答】待合所付近に券売所、売店等の設置は、交流センターみらいの目的、建設にあたっての商業関係者との協議から、競合する店舗等の設置は難しい。しかし、券売所等は、中央バスより意向があれば関係機関と検討したい。広場内の通行方法も既存標識の利用等を含め、道と協議する。

新政クラブ

(植村真美)

【高】行政業務の引継ぎや市民に対して確実な行政発信の在り方の見直しとシステム導入の検討を

【答】システム導入については検討するが、多額な費用がかかるため困難。今使用している「行政文書目録兼保存文書カード」を紙媒体ではなくデータベース化するなど工夫したい。

【高】駅を中心としたまちの活性化について①アンテナショップの設置について

【答】商店街と意見交換し、中心市街地活性化していく施策について検討する。

【高】駅から駅裏へ、自由に出入りすることの出来る跨線橋や通路の建設は出来ないか

【答】JRとも協議してきたが、困難。中心市街地活性化に人を呼び込むためにも、駅裏は、新たな観光ルートとしての魅力の向上を図るため、課題を整理していく。

日本共産党

(実戸 忠)

【高】超水河期の高校新卒予定者等の就職支援は

【答】市役所職員の採用は、21年消防職1名予定、22年は財政状況を見て検討する。

【高】国民健康保険証と資格証明の問題

【答】中学生以下の子供のいる世帯で「子どもの健康を守る」と「税の公平な負担を維持する」両面を考慮し、分納相談等の約束を得ながら短期証の交付を検討する。

【高】赤平市内の中小企業支援年の瀬緊急対策は

【答】国の緊急融資制度におけるセーフティネット貸付による認定作業に係り、金融機関と連携を図りながら迅速な対応を努める。「税などが完納していること」については相談に応じることはしているが、税の不公平さが生じないよう内部で調整を図り慎重に対応していく。

この度、定例会の質問答弁内容は、赤平市議会のホームページに掲載されることとなりました。 http://www.city.akabira.hokkaido.jp/gikai/index.html

議会の動き

<9月>

9/30 社会経済常任委員会
・市立赤平総合病院の経理状況について(8月分)

<10月>

10/25 行財政改革調査特別委員会
・赤平花卉園芸振興公社について
10/27 議会運営委員会
10/27 社会経済常任委員会
・市立赤平総合病院の経理状況(9月分)・国民健康保険運営協議会委員の解嘱・共同浴場利用料金の改定・浄化槽汚泥の処分に関するし尿処理手数料の徴収・レジ袋の有料化・ごみ袋に関する福祉減免の変更について

・ゆたか湯廃業後の地域対応について

10/27 行財政改革調査特別委員会
・赤平花卉園芸振興公社について

<11月>

11/6 総務文教常任委員会(視察)
・遊休教育施設の活用について(札幌市・栗山町)
11/10 全員協議会
11/10 行財政改革調査特別委員会
・これからの市立赤平総合病院のあり方指針について
11/18 総務文教常任委員会
・市営テニスコート・平成20年分確定申告に係る平岸高齢者コミュニティセンター会場変更について
11/28 社会経済常任委員会
・市立赤平総合病院の経理状況(10月分)・平成20年度赤平市福祉灯油購入費助成事業(案)・公営住宅法施行令の改正による市営住宅の家賃等について

12/11 議会運営委員会

12/16 第4回定例会 (~19日)

12/16 議会運営委員会

12/17 議会運営委員会

12/18 社会経済常任委員会

<12月>

・国民健康保険条例の一部改正・廃棄物の資源化・再利用の促進及び適正処理に関する条例の一部改正・共同浴場設置条例の一部改正・市営住宅条例の一部改正・ケビン村「虹の山荘」利用料の特別割引料金について

12/18 総務文教常任委員会

・土地開発基金条例を廃止する条例の制定・中空知広域市町村圏組合規約の変更について

12/18 行財政改革調査特別委員会

・権利の放棄に関する議決を求めることについて

・平成20年度赤平市一般会計補正予算

12/19 行財政改革調査特別委員会



特集記事

No.4 : 委員会最前線

最近の委員会の動き・情報
×メッセージ

社会経済常任委員会

◎宍戸○太田・北市・獅畑・鎌田・谷田部

市立赤平総合病院の現状は？

市からの繰り入れ額 H20 約4億8千万円 H21 約7億円予定
※H20・4月～10月末までの収入では、赤字は出ていない

— 病院の経営健全化を目指して —
がんばる「チーム内山院長」に期待！！

＜医師確保対策＞ 医師増期待高まる！

見学ツアーに大阪市在住の整形医師来赤

H21・1月
より勤務予定

12月現在
医師 7名
研修員 4名
計11名

来年からは、
12名体制に！



総務文教常任委員会

◎林○植村・北市・獅畑・若山・五十嵐

遊休教育施設の活用を 他市町から学ぶ！

現地視察へ行って来ました！

＜実施内容＞
平成20年11月6日(木)
午前8時 赤平出発
午前10時30分 札幌到着
市民活動スペース アウ・クル
午後2時 栗山町役場
コココーラ 環境ハウス



●市民活動スペースアウ・クルは、旧豊水小学校跡施設において、NPOや地域団体と連携し、事業活動・市民自治の場を創り、実現することに努めている。さまざまなアイデアや取り組みによって、建物の借り受けの管理運営の強化を図っていることなど、活動の具体的な様子を伺うことが出来ました。

(説明者:アウフル代表 東田 秀美氏)

●栗山町のコココーラ環境ハウスは、旧雨煙別小学校の活用にあたり、地域住民との取り組みや大企業との関わりに至るまでの内容を伺うことが出来ました。学校の改築は、まだ初期段階でありましたが、豊かな自然環境の中で環境教育などを行い、宿泊可能な施設として生まれ変わるようです。

これからも注目の施設です！ (説明者:栗山町 総務課長 山本信二氏)

★お世話になった皆様に感謝いたします。ありがとうございました★

**赤平の遊休施設の活用についても
みんなで考えていこう！**

行政改革調査特別委員会

◎獅畑○北市・太田・林・植村
若山・谷田部・宍戸・五十嵐

花卉園芸振興公社の現状は？

H20・8・31に公社解散

公社解散時で、市からの貸付 5億2500万円、売却含め回収、1億8221万1841円 残り3億4278万8159円が回収不能となる。

設置責任者

高尾市長が本会議で陳謝。ポスト石炭にかわる地場産の花のまち赤平として良質な「らん」作りとイベントを展開。しかしながら、経営については、あらゆる対策を講じながらも回復に至らなかった。3億4200万円の債権放棄は市民の皆様には大変申し訳ない。

特別委員会での意見を付して可決

(全員一致 12/19)

H6・2月住友石炭赤平炭鉱閉山後、ポスト石炭のまちづくりの一環として、(株)赤平花卉園芸振興公社設立14年間に渡り、雇用確保、地域経済の振興に貢献。民間企業に譲渡が決まり、雇用確保、事業継続に至ったことは一定の評価をする。しかし、公社に対し貸付金の回収不能の債権放棄は、市民の財産を失った行政責任は多大。市民への十分な説明を速やかに行っていくべき。議会としても、責任を重く受止め、チェック機能を強化していく。今後、理事者に対し、今回のことを教訓に二度とこのようなことがないように強く望む。



◀◀◀◀◀
公社から引継いだ赤平本社の赤平オーキッド(株)は、ホームマックス出資会社である。従業員20人の新会社設立で赤平「チョウラン」が生き続ける。(左写真は、ホームマックス川店の「チョウラン」販売所)

・ 編 ・ 集 ・ 後 ・ 記 ・

みなさん こんにちは。

12月のかわら版の発行は、通常よりも早く、スピードを上げて作成を行いました。内容は、いかがだったでしょうか？

今年も残すところ、数日ですね。今年は、みなさんにとってどんな1年でしたか？来年もみなさんにとって、赤平にとっていい1年でありますように・・・☆

かわら版編集委員

宍戸・谷田部・五十嵐・太田・植村

